

【6】宮地区「地域福祉“お茶の間トーク”」

“お茶の間トーク”ってなに？

もっと住みやすい宮地区のまちにするために、宮地区の人々が、2回にわたっていろいろなことを話し合ったのが“お茶の間トーク”です。

参加者の皆さんがグループに分かれて、模造紙や付せん紙を使いながら、誰でも平等・自由に意見を出し合う「ワークショップ」という方法で行われました。

クイズやゲームなどを交えて楽しみながら、大人も子どもも一緒に、まちの中の問題やその解決方法を考えることで、参加者の皆さんとの交流にもなりました。

第1回・

テーマ：地域のことを見つめ直そう！
～地域について考えるきっかけづくり～

日 程：平成18年7月8日（土）

内 容：
●お茶の間クイズ
●地域マップづくり
●地域の“よかところ”・“気になるところ”探し



まずは宮地区にちなんだクイズや、大きな地図の中から学校や施設を探すマップづくりに、グループごとに協力して取り組み、コミュニケーションを深めました。

緊張もほぐれたところで、参加者それぞれが思う宮地区の“よかところ”と“気になるところ”を出し合いました。

参加した皆さんにとって、お互いに同じ悩みを持っていたり、知らなかったことを再発見するいい機会になったようです。

※下のような意見が多く出されました。



【よかところ】

- 美しい自然に囲まれている
- 八幡岳、弘法岳からの景色がよい
- 人々に人情味がありつきあいやすい

【気になるところ】

- 地域の人口が少ない（少子高齢）
- イノシシ等に田畠が荒らされる
- 大きな店が少なく買い物が不便

皆さんも宮地区“お茶の間クイズ”に挑戦してみましょう！//

問1 終戦直後、海外に残された方々が海外から帰ってくることを「引揚げ」と呼んでいたそうですが、針尾の浦頭港を含め国が指定した引揚げ港は全部でいくつあったでしょう？

- ①5港 ②10港 ③12港

問2 宮地区にある宮小学校・中学校、今から30年以上前の昭和46年には、あわせて何人の学生がいたでしょうか？

- ①662人 ②897人 ③935人

問3 「宇都宮神社」の階段は何段あるでしょうか？

- ①56段 ②68段 ③81段



※答えはP8の下にあります。

第2回・

テーマ：地域のみんなにできることを探そう！

～小さなことでも地域のために～

日 程：平成18年8月19日（土）

内 容：●グループ対抗発想ゲーム

●気になり具合診断

●みんなにできることを探そう



第2回も、まずはゲームなどで交流した後、前回出された“気になるところ”の中から、皆さんの関心が高い問題を選びました。

さらに、その“気になるところ”を解決するために、「地域のみんなにできることはないのか」が話し合われました。

グループごとにいろいろな世代の方から、自由に、そして熱心に意見が出されていました。

※出された意見の中からいくつかご紹介します。

【問 題】

高齢者世帯が増えている
(買い物、ごみ出し、
病院など心配)



【“みんなにできること”の意見】

- 高齢者世帯に配達するサービスを考える
- 地域で声を掛け合い、お互いに助け合う
- 高齢者の人たちが困っていたら助ける

参加した皆さんの感想から

◎“宮”的ことを改めて考えるいい機会になった。考えたことを実行するために、できることから行動したい！

◎これからも、地域のことを真剣に考える機会（検討会）などを設け継続していくことが必要である！

“お茶の間トーク”的なねらいはこういうところもあります。

**宮地区の皆さん一人ひとりが、地域を良くしたいという
気持ちを持ち、“できること”を考え取り組むことが大切なのです。**



この“お茶の間トーク”での意見をもとに、福対協が中心となってまとめた、
次のページの**“みんなの力でできること”**をぜひ実行していきましょう！